

フレデリック・ポール&CMコーンブルース『宇宙商人』のメモ

takaidos

フレデリック・ポール&CMコーンブルース。

1953年発行。

加島祥三・訳。

1967年。

フレデリック・ポールはやはり面白い人のようだ。
ユーモアと、直情径行で心の不安定な大人が出て来て意表をつく。

主人公(語り手)は世界企業ファウラー・ショックン社の一級職から陰謀によって、死んだことにされ別人としてクロレラ工場に送られ下級職の重労働を課せられる。

著者はその世界の環境を新参者にたかる先輩労働者や賃金の話で劣悪さを表現している。

★★★★☆

<目次>

1~19章

解説~最も成功したチーム・ライター/福島正実

<登場人物>

ファウラー・ショックン:ファウラー・ショックン社社長。

ミッチェル・コーティナー:主人公・語り手ミッチ。同社の広告文案家。金星課長。★

マシュー・ランステッド:同社の販売調査部長。金星行き宣伝のテスト地域を巡ってミッチと対立。テスト地域は金星のような暑い所に憧れる寒い地域を選ぶべきと主張した。

ミッチを陥れたあとの金星課長を引き継ぐ。

ハーヴェイ・ブルーナー:同社の市場調査部長。

ティルディ・メイシス:同社の人事課長。

トレイシー・コリヤー:同社金星課の開発連絡係。

ヘスター:ミッチェルの秘書。

キャシイ・ネヴィン:ミッチェルの妻。1年間の契約結婚。女医。

ジャック・オーシー:金星から帰還した小人。3.5フィート、60ポンド。

マクドナルド:ロケット・サイトの司令官。職業軍人。ピンカートン秘密探偵社から出向。

ハム・ハリス:販売調査部ランステッドの部下。サン・ディエゴ・

オフィス担当だったが怠慢でミッチに解雇される。

グロービィ・ウィリアム・ジョージ:ミッチが誘拐されて付けられた名前。26歳。クロレラ掬いにされる。

ミューレン:ベッド割当係。

ホロックス夫人:宿舎係。

アメリカ変形菌蛋白食労働者の男:ミッチにパンフレットを売る。

パイン:室係。

ガスタヴォ・ヘレラ:クロレラ社のチキン・リトル係。肉切主任。
gustavo herrera?

ロニイ・ボウエン:コンシィ。自然保存主義者。人事課。

アルツロ・デンザー:コンシィ。若い。

シーリア・コーウィン:コーシィ。美術家。ニューヨーク美術館で会った。

ウォレン・アストロン:ルナ・シティの占星師。

B・J・トントン:週間トントン社の社長。

ローラー博士:ミッチの精神分析医。

シレリィ:ファウラー・ショックン社中枢機関の主脳。ミッチと会社の後継を争う。

エイヴェルズ:ファウラー社のワシントン支社駐在員。

山高帽の小男:合衆国大統領。

AIG:アメリカ婦人科医協会。

スターゼリアス・ヴェリリー社:ファウラー・ショックン社と世界的トラストを組む。

インディアストーリーズ:インド企業。ファウラー・ショックン社と世界的トラストを実現した。

ユニヴァーサル社:ファウラー・ショックン社のライバル会社。

トントン社:同ライバル。

USスティール:ロケット開発。

アメリカ航空部:

ベル電話研究所:

アメリカ中央防諜局:

合衆国原子力委員会:

S&I:

海軍情報局:

連邦検察局:

国務長官:

WCA:World Conserviastionist Association.世界資源保存管理協会。

秘密結社。コンシィズ。組織員はコンシィ。

ピンカートン秘密探偵社:

バーンズ探偵社:

クロレラ社:ミッチがグロービィとして強制労働させられた工場をもつ。

I.Gファーベン社:ウラニウム採掘。

ルナ・シティ社:

<あらすじ>

世界企業同士は過激な市場争奪戦を繰り広げて来たが、ファウラー・ショックン社は世界の半分を治めていた。

人民の数は8億人(これは世界人口80億の誤植か?同社の正社員数か?)

人民には上級から下級職まで12ほどの階級があり、労働者は会社の奴隷で売買もされていた(?)。

1. アリゾナ砂漠には金星ロケット、パナマの暴動。

同社の広告文案家ミッチェルは会議の席上で突然、金星市場開拓担当に任命される。

2. 金星計画を巡ってトーンソン社を敵に回していたり、自然保全主義団体コンシイ、婦人科医協会などから苦情が来ていた。

金星に行って帰還した唯一の男ジャック・オーシーと会うが事故に遭遇する。

3. 一年契約で結婚した女医キャシイとは親密になる。

一方で金星計画の宣伝テスト地域の選定で販売調査部長マシュー・ランステッドと対立。

社長がランステッドを外す。

ミッチは何者かに命を狙われるようになる。

4. ジャックをファウラー・ショックン社に迎え入れ、キャシイと会食。

5. サンディエゴの事務所に行って、かつてランステッドの部下で今は怠慢なハム・ハリスを解雇する。

6. 南極のリトル・アメリカに行ったランステッドを追う。

スターゼリアス氷河地帯でランステッドを見つけるが襲われて気絶。通信装備を奪われる。

7. 気がつく、下級の別人ジョージ・グロービィとしてコスタリカのクロレラ工場行きの船に乗船させられていた。

8. グロービィ(ミッチ)はクロレラ工場脱出方法を模索する。

9. 肉切主任のガスタヴォ・ヘレラがコンシイズ(WCA)に勧誘され幹部ボウエンと会う。
ボウエンによってグロービィはニューヨークに転任させてもらえることが決まる。

10. ミッチ(グロービィ)は秘書のヘスターに会うことが出来て社長のショックン・ファウラーが月に行っていることを知るが何者かに襲われる。

11. ミッチを誘拐したのは、ショックン・ファウラー社に火星計画の仕事を奪われたトーントンだった。
拘束されて秘書のヘディに殺されそうになるが逆に始末して脱出出来る。
ヘスターに金を借りてショックン・ファウラーを追って月に行こうと考える。

12. 秘書のヘスターの助けを借りて月行きのロケットに乗れたがヘスターが毒殺されてしまう。
ルナ・シティに到着してコンシィの緊急援助信号を身振りで示すとバーンズの探偵が来て夜警棒を腰にあてがってアーケード街を連行された。
そして占星術市ウォレン・アストロンの店に自分を警棒で倒して逃げこむように言われてその通りにする。

13. 店の地下に隠れて待っていると妻のキャシィがやって来た。
キャシィもコンシィだったのだ。
キャシィはランステッドに頼んでミッチを誘拐しれクロレラ工場で働かせた、一般人の労働の酷さを体験してもらいたかったのだ、と言う。
キャシィにファウラー・ショックン社長に電話させるとファウラーが来て生還を喜んでくれ、ただちに金星課長に戻される。
ミッチは護衛部隊を付けてもらう。

14. ジャックは英雄として扱われていたがファウラー社の中で多忙だった。
ミッチはファウラー社長に妻がコンシィだったことやクロレラ社で遭ったことなど話すが幻想と言って取り合ってくれない。

15. ショックン・タワーの下でランステッドのものと思われる投身自殺死体が見つかる。
リトル・チキンの肉塊を使って自殺に見せかけて逃亡したようだった。
ファウラー・ショックン社長は忠告したにも関わらず護衛部隊を外して暗殺されてしまう。

中枢機関主脳シレリィが後継を名乗るが、ミッチは遺言書に基づいて隠してある表決権株を集めて社長になる。

16. キャシイもウォレン・アストロンも潜伏してしまっただが、ミッチはキャシイを取り戻したかったので、コンシイの細胞(組織員)が捕まると出掛けて行って面談した。
重役会議では、地球の銀行、企業に儲けさせたいので、金星のCO2開発を高コストにするよう部下のチャーリーに指示する。
監査役のベン・バーンハードが高給取り顧問のオーシーは会社からの前借りが多く、監査課女子職員たちにも言い寄って評判が悪いと聞いたので、ミッチはオーシーを呼び出した。
そしてミッチはキャシイに送った特別な香水の匂いを嗅ぎつけ、オーシーを尾行させることにした。

17. キャシイに該当するかもしれない女性の情報を得たミッチーは銃を持って、トーントン・ビルの宿舎(下級労働者用?)に侵入し、やっとキャシイに出会える。
一晩を過ごして脱出しようとするがトーントンがやって来て足止めされそうになるが、キャシイがトーントンに銃を突き付けて脱出できる。
ミッチは地球の二酸化炭素を売って儲けているのはトーントンがほとんどであるといい、チャーリーに金星での二酸化炭素製造コストを下げるように伝える。
そしてキャシイにランステッドを呼び出してもらい、彼に市民が金星には行きたくないように巧みに広報活動をさせる。ファウラー社が金星ビジネスを占有するため。

18. 金星行きのスローガンを集め、一等賞1500名には金星行きをプレゼントすることにする。コンシイが1400名になった。
アリゾナからの金星へのロケット発射は間近になった。
ワシントンへ行き、駐在員と大統領に会い、議院に行って演説する。
しかし中立のヤミイ・コーラ選出議員がトーントンを招聘し、ミッチーのはトーントン社と契約違反し、秘書を殺し、ジョージ・グロービーで、かつコンシイなのか?と質問して、大騒ぎとなりミッチは退場させられる。

19. そしてアリゾナに連行され、金星行きロケットに乗せられるとキャシイが待っていた。
ロケット発射後、無重力の中で、キャシイはあとのことはミッチーの委任状を持ったランステッドがやり、ジャックはトーントンに捕まって金星計画の全貌を自白させられ崩れた、と聞かされる。
秘書ヘスターはミッチーを愛していて結局は自殺。
キャシイはあなたのことが大好きだった、という。

<メモ>

コフィエスト:栄養飲料。プロテイン、各種栄養素、アルカイド(カフェインもそのひとつで中毒性がある)。

ブレグノット:ファウラー社の避妊薬。

チキン・リトル:肉採取用の巨大生物。

CMコーンブルース(1923~1958)。フレデリック・ポールとの共著。

『宇宙商人』

『空を探せ』

『法の闘士』

『洪水の町』

『大統領選挙の年』

『ウオルフベイン』